



# YAMAHA

感動を・ともに・創る

## RTX2000 用 VPN モジュール

# YBB-VPN-B

## 取扱説明書

- ◇ 本製品は、YAMAHA ルータ『RTX2000』の拡張スロットに装着して使用する拡張モジュールです。本モジュールは、IPsec プロトコルパケットに対してハードウェアにより 3DES 及び DES を高速暗号処理し、RTX2000 での IPsec を使用可能にします（AES はソフトウェア処理）。
- ◇ 本製品単体での使用や、『RTX2000』以外の装置に装着して使用することはできません。
- ◇ **本製品は、『RTX2000』のファームウェアが Rev.7.00.27 以降または Rev.7.01.26 以降でのみお使いいただけます。**
- ◇ 本製品をお使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。具体的な設定についてはコマンドリファレンス及び設定例集を参照してください。
- ◇ 本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。
- ◇ 本書はなくさないように、大切に保管してください。
- ◇ 本製品を譲渡する際は、本書も同時に譲渡してください。

## 梱包品の確認

VPN モジュール [製品番号 YBB-VPN-B]

拡張モジュール	1 台
スペーサ	3 個
保証書	1 枚
取扱説明書（本書）	1 部

# 安全にお使いいただくために



- ・ 本製品を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。部品が破損し、火災や感電、故障の原因となります。
- ・ 本製品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ・ RTX2000 本体の電源を入れたまま、本製品の取り付け作業を行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。



- ・ 直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度が高い場所には、置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- ・ 極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、電源コードを抜き、乾燥させるか、十分に室温に慣らしてから使用してください。
- ・ ほこりが多い場所や油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、磁界が強い場所に置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- ・ 本製品を廃棄する場合には不燃物ゴミとして廃棄してください。お住まいの自治体の指示があればその指示に従ってください。

# 保守サービス

## ■ 保証期間

---

ご購入から1年間です。

## ■ 保証書について

---

保証書をお受取りの際は、お買い上げ年月日・販売店などを必ずご確認の上保管してください。万一紛失なさいますと、保証期間中であっても実費を頂戴させていただくこととなります。

## ■ 保証期間中の修理

---

保証期間中に万一故障した場合は、ご購入の販売店または下記ヤマハルータお客様相談センターまでご連絡の上、製品をご送付ください。その際必ず保証書を同封してください。

## ■ 保証期間終了後の修理

---

保証期間終了後の修理は有料となりますが、引続き責任をもって対応させていただきます。ご購入の販売店または下記ヤマハルータお客様相談センターまでご連絡ください。ただし、修理対応期間は製造打ち切り後5年間です。

## ■ オンライン情報について

---

次のWWWサーバで提供しています。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

## ●ヤマハルータお客様相談センター

---

ヤマハ株式会社 AV・IT 国内事業推進室

電子メール: [info@rtpro.yamaha.co.jp](mailto:info@rtpro.yamaha.co.jp)

TEL: 053-478-2806

FAX: 053-460-3489

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

# スペック

## 処理対象プロトコル

3DES、DES

## 動作環境条件

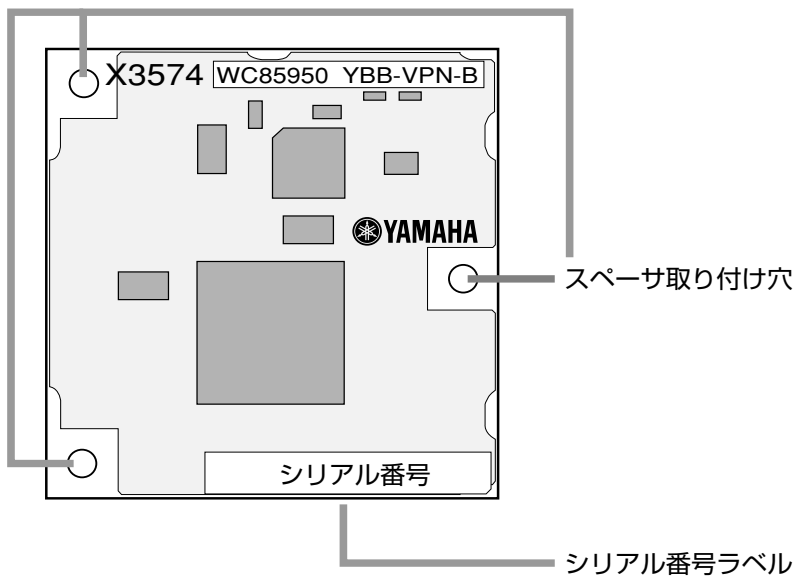
周囲温度 0～40℃  
周囲湿度 20～85%（結露しないこと）

## 保管環境条件

周囲温度 -20～50℃  
周囲湿度 10～90%（結露しないこと）

# 各部の名称

上面からの図



# インストール

本製品のインストールは次の手順で行ってください。

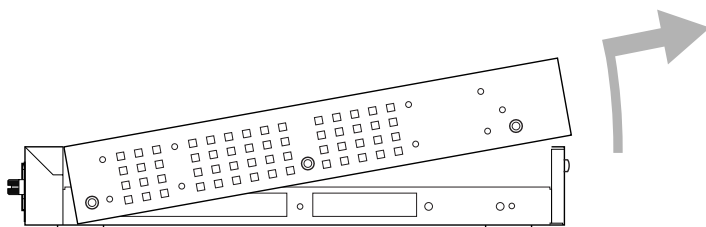
1. RTX2000 本体の POWER スイッチを OFF にし、電源コードを抜きます。



**警告**

感電の危険があるため、必ず電源コードを抜いてください。

2. RTX2000 本体のシャーシ部分に指を触れて、静電気を逃がしてください。
3. RTX2000 本体側面にある各々 3 個の皿ネジと、背面に 3 個ある平ネジを外します。これらのネジは無くさないように注意してください。側面のネジと背面のネジは異なりますので区別してください。また、RTX2000 の内部（電子部品の隙間）にはネジなどの異物を絶対に落とさないようにしてください。落としてしまった場合はその状態で放置しないですぐに取り除いてください。
4. RTX2000 の上カバーを外します。カバーの後方を 5 センチほど持ち上げてから、全体を後方へずらすとはずれます。



5. CONSOLE コネクタの奥 8 センチほどのマザーボード上に 3 カ所のスペーサ取り付け穴があります。この穴に付属のスペーサ 3 つを差し込みます。

6. VPN モジュールを取り付けます。VPN モジュールはシリアル番号ラベルが見える方を上にして周辺を持つようにし、決して電子部品には触らないでください。マザーボードに取り付けたスペーサと VPN モジュールの 3 つの穴を合わせ、その穴の近くを指で押さえて上からやや強く押し込みます（シリアル番号ラベルが電源部分を向いた方向で穴が合致します）。スペーサの頭が約 3 ミリほど見えていれば OK ですが、そうでなければもう一度しっかりと押し込みます。
7. 上記の逆手順で上カバーを取り付け、ネジ 9 個を取り付けます。側面用と背面用のネジの種類が違いますので注意してください。また、取り外したネジ以外のネジは絶対に使用しないでください。ネジは必要以上の力で無理に締め付けしないでください。
8. RTX2000 に電源コードを差し込み、POWER スイッチを ON にします。
9. コンソールにアクセスし、**show environment** コマンドによる表示で次のように「vpn: YBB-VPN-B」で始まる行があると、VPN モジュールは正常に認識されています。

```
> show environment
RTX2000 Rev.7.01.26 (Fri Oct 17 20:56:40 2003)
  main: RTX2000 ver=c0 serial=NOM001001 MAC-Address=00:a0:de:07:f1:a8
  slot: YBB-8FE-TX ver=b0 serial=D08001001 MAC-Address=00:a0:de:07:f0:e0
  vpn:  YBB-VPN-B ver=b0 serial=D09001789
CPU:  3%(5sec)  3%(1min)  0%(5min)  メモリ: 3% used
.....
```